



2016年テーマ 「心動いて元気になる」

ゆたかなビレッジで、人と出会い、心を動かされ、また元気に明日もやっついこうと思うエピソードを毎月ご紹介いたします。

第3回 「一国一城の主となれ」

2011年7月、友人の結婚式のため旭川にいた。職員からメールが入る。「レイコさんが逝かれました。」創業から2年を過ぎて、職員の計らいもあり、久しぶりの休暇中の出来事だった。出発の朝、事業所へ顔を出した。皆に挨拶しているとレイコさんだけ不機嫌な顔をされていた。手招きして、私が休暇を取ることに苦情を述べていたと記憶している。ご病気の進行により体調はベストではなかった。ご家族も海外、介護士をととても頼りにしてくださっていた。出会いは創業前に遡る。アメリカで作家活動をされていたこともあって、活動的な要介護者であった。介護サービスの合間を惜しみ、読書、パソコンに向って原稿を打つ、自宅でも同じく、ヘルパーさん方の手を借りて創作活動を継続していた。縁があって「ゆたかなビレッジ」に関わることになった。私に会って一言「一国一城の主ね」恥ずかしいが、ありがたいとも思った。とにかくスタッフ全員にニックネームを名付けることを楽しんでた。そのニックネームは芸術的、その人にピッタリとした名前を付ける。「道頓堀花子さん」「椿直子さん」「沈黙の巨人さん」ジョークもスパイスが効いている。上手にお相手しないと叱られてしまう。いつも元気をいただいていた。夢はノーベル賞作家になること。私が、横浜のホテルで受賞祝賀会を主催することも約束していた。自身の可能性をあきらめてはいなかった。関わる介護士もエネルギーに引っ張られ、様々な経験をした。私も創業前、周囲の人からは事業運営の不安、継続の難しさ、失敗したエピソードを語る人が多くいた。私のことを心配しての事であると察していた。正直落ち込んだ。ただ一人、レイコさんだけは「一国一城の主になりなさい」と励ましてくれたことを思い出す。何とも心強く、自身も希望を持たれたことを今でもありがたく思う。春先、ソワソワして送迎車を待つ、車椅子に乗っている姿をふと思い出す日がある。自分が、未だ未熟な一城の主であることを詫びて、また希望をもって進むことを誓うのみである。



ゆたかなビレッジ各事業所の話題ご紹介

小規模多機能型居宅介護ゆたかなビレッジ ポートサイド :スタッフブログより

こんにちは！yoshiです。
 昨日は幸ヶ谷小学校の卒業式でした。生徒の皆さん、ご卒業おめでとうございます！
 ポートサイドからもお祝いの気持ちを、皆さんの通学路で貼り出させていただきました。さて、本日は日曜日でしたので、恒例となっております招き猫の配布を行ってまいりました。今回の分には、前回のブログで書きました、幸ヶ谷小学校6年3組の生徒さんが作って下さった分が入っています。それで、こういった文をおつけしました。せつかくの生徒さん達の気持ちも伝わればと思ひまして。この日なのですが、なんとという偶然か横浜シティウォークというイベントをやっております、ポートサイドの前をたくさんの人達が通っていらっしやいました。その人達の目に留まり、生徒さんが作ってくれた招き猫はあっという間に無くなり、追加で出した分もどんどんと無くなっていきました！結果として、生徒さん作成も含め59個の招き猫を並べた所、53個をお持ちいただけるといふ、素晴らしい結果になりました！いただいた募金も、この日だけで4,118円になりました。ありがとうございます！これで募金の累計も2万5千円ほどになりましたので、もう少したまりましたら被災地に送りたいと思います。さて、午後には幸ヶ谷小学校6年2組の生徒さんが、4人で遊びに来てくれました。プレゼントがあるとの事で、楽しみにしておりますと、クラスで作った寄せ書きを持ってきて下さいました！6年2組の生徒さんには、昨年花壇づくりをご協力いただきましたまして、その時の事を書いてくれていたりしましたよ。そして、帰り際には「また遊びにきます！」と書いて下さいました。これから中学生になられて、忙しくなるとは思いますが、ぜひ遊びに来て下さいね！

